株式会社WEST inx

2023年度環境経営活動レポート

（対象期間：2022年　9月～2023年　8月）

作成日：2023年10月27日

目次

環境経営方針	1
組織の概要	2
認証・登録の対象組織・活動	2～3
主な環境負荷の実績	4～7
環境経営目標及びその実績	4～7
環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し	9
環境経営活動の紹介	9

環境経営方針書

ウエストグループの基本理念は
「品質第一に徹し安全で使いやすい製品を提供し顧客満足度100%の企業を目指そう」

この基本理念に基づき環境経営方針を次の通り定めた。

法令順守の徹底と環境配慮を通じて、安全で安心して使用できる
ものづくりを行ない社会貢献が出来る企業を目指そう

環境経営方針

私たちはお客様に信頼される製品を提供し
また、継続的に環境経営活動に取り組みます
（この言葉には、下記項目が含まれます）

1. 電気を中心とした省エネ活動を通じ、
   二酸化炭素の排出量の削減に取り組む
2. 節水に努め、水資源を有効に活用する
3. 廃棄物の削減に努め、資源循環に積極的に取り組む
4. 環境に配慮したものづくりを積極的に取り組む
5. 環境配慮製品の購入・使用を推進し、生産・販売活動を
   通して直接・間接的に環境への負荷を低減する事を目指す

2022年　5月30日
代表取締役
西　康雄

□組織の概要

（1）

株式会社WEST inx
代表取締役　西　康雄

（2）本　　社　　大阪府寝屋川市点野3丁目18番3号
関連事業所
(株)ウエスト　　大阪府寝屋川市点野3丁目18番3号
大阪オフィス　　大阪市中央区今橋4丁目3番22号
東京オフィス　　東京都港区南青山5丁目11番15号

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　品質管理部　小山　正
担当者　　品質管理部　小山　正

（4）事業内容
住宅･ビル用の錠前、引戸用閉鎖装置等及び建築金物の設計･開発･製造･販売

（5）事業の規模
製品出荷額　　50億円
主要製品生産量　　270トン

	本社	ウエスト本社	第二倉庫	大阪オフィス	東京オフィス	合計
従業員	93名	17名	0名	4名	10名	124名
延べ床面積	5760㎡		940㎡	130㎡	189㎡	7019㎡

（6）事業年度　　9月～8月

□認証･登録の対象組織･活動

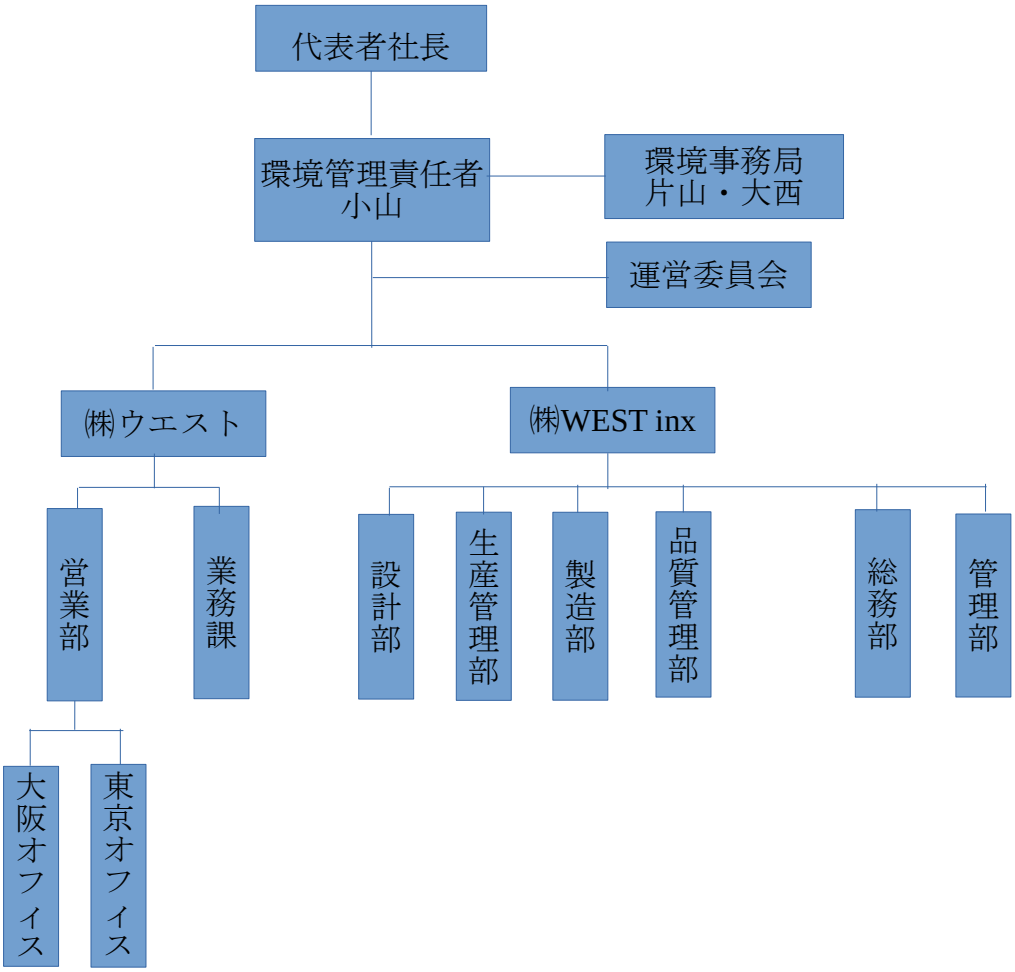
登録組織名　　株式会社WEST inx

関連事業所:　　株式会社ウエスト　　本社
大阪オフィス
東京オフィス

活動:　　住宅･ビル用の錠前、引戸用閉鎖装置等及び建築金物の設計･開発･製造･販売

□実施体制図

策定日　2022.9.1



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者 小山	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認
	・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営活動レポートの確認
環境事務局 片山・大西	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成
	・環境経営活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
運営委員会	・環境経営活動実績の確認・評価
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

※ウエストグループ（2016年度よりグループ全体でエコアクション21に取り組む）

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2012年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	179,603	225,990	233,167	233,618	244,001	255,805
廃棄物排出量							
一般廃棄物排出量	kg	11,258	9,952	9,748	9,124	9,335	9,262
産業廃棄物排出量	トン	71.0	45	30	27	36	48
総排水量	㎥	1,646	1,971	1,170	1,215	1,376	1,816
電力の排出係数 kg-CO2／kWh	本社	0.355	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503
	東京	0.355	0.474	0.474	0.474	0.474	0.474
	大阪	0.355	0.493	0.493	0.493	0.493	0.493

□環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		基準値	2021年度	2022年度	2023年度		2024年度
		（基準値）	（実績/目標）	（実績/目標）	（目標）	実績	目標
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	179,603	166,126	164,343	162,499		160,685
			132,465	120,048		113,650	
	基準年比	（2012/15年）	80%	73%		70%	88%
自動車による二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	69,027	64,195	63,505	64,887		64,174
			37,785	42,428		48,497	
	基準年比	（2014年）	59%	67%		75%	90%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	59,427	53,441	55,223	54,610		53,996
			63,368	81,525		93,658	
	基準年比	（2012年）	119%	148%		172%	88%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	308,057	283,762	283,071	281,996		278,855
			233,618	244,001		255,805	
			82%	86%		91%	
一般廃棄物の削減	kg	11,258	9,944	9,831	9,719		9,606
			9,124	9,335		9,262	
	基準年比	（2012/15年）	92%	95%		95%	87%
産業廃棄物の削減	トン	71.0	64.0	63.5	63.0		62.1
			27	36		48	
	基準年比	（2012年）	42%	57%		76%	87%
節水	㎥	1,646	1,548	1,532	1,515		1,499
			1,215	1,376		1,816	
	基準年比	（2015年）	78%	90%		120%	91%
製品への環境配慮(件)		4	10	4	4		4
			10	1		4	
	目標比	（2014年）	100%	25%		100%	
電力の排出係数	本社	0.355	0.503	0.503	－	0.503	－
	東京	0.355	0.474	0.474	－	0.474	－
	大阪	0.355	0.493	0.493	－	0.493	－

※二酸化炭素排出量において、ガソリン・産業廃棄物及び都市ガスの使用は本社のみ
※化学物質の使用はありません

【本社】

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2012年度基準	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	285,929	208,892	216,525	216,994	228,258	240,030
廃棄物排出量							
一般廃棄物排出量	kg	10,800	9,525	9,327	8,778	8,984	8,938
産業廃棄物排出量	トン	71.0	45	30	27	36	48
総排水量	㎥	1,620	1,946	1,160	1,206	1,369	1,809
電力の排出係数		0.355	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503

*2019年度以降、新エネルギー開発（株）の2016年度の実績に基づく調整後排出係数を適用する。

□環境経営目標及びその実績

項　目	年　度	基準値	2021年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度
		（基準値）	（目標/実績）	（目標/実績）	（目標）	（実績）	（目標）	（目標）
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	157,475	145,325	143,728	142,131		140,534	138,937
			115,841	104,305		97,875		
	基準年比	（2012年）	80%	73%	89%	69%	88%	87%
自動車による二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	69,027	64,195	63,505	64,887		64,174	63,461
			37,785	42,428		48,497		
	基準年比	（2014年）	59%	67%	91%	75%	90%	89%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	59,427	55,837	55,223	54,610		53,996	53,382
			63,368	81,525		93,658		
	基準年比	（2012年）	113%	148%	89%	172%	88%	87%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	285,929	265,357	262,456	261,628		258,704	255,780
			216,994	228,258		240,030		
			82%	87%		92%		
一般廃棄物の削減	kg	10,800	9,504	9,396	9,288		9,180	9,072
			8,778	8,984		8,938		
	基準年比	（2012年）	92%	96%	86%	96%	85%	84%
産業廃棄物の削減	トン	71.0	64.0	63.5	63.0		62.1	61.4
			27	36		48		
	基準年比	（2012年）	42%	57%	88%	76%	87%	86%
節水	㎥	1,620	1,523	1,507	1,490		1,474	1,458
			1,206	1,369		1,809		
	基準年比	（2015年）	79%	91%	92%	121%	91%	90%
製品への環境配慮(件)		4	10	4	4		4	4
			10	1		4		
	目標比	（2022年）	100%	25%		100%		
電力の排出係数		0.355	0.503	0.503	－	0.503	－	－

※ガソリンの基準年を2014年に再設定し目標を設定。 2023年より軽油も使用。

※節水の基準年を2015年に再設定し目標を設定。 2023年度より給食業者変更で社内洗浄が発生。

【東京オフィス】

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	基準年	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	11,417	10,505	9,689	9,365	8,874	9,001
廃棄物排出量	トン	－	－	－	－	－	－
一般廃棄物排出量	kg	284	273	260	216	204	182
総排水量	㎥	6.0	5.8	3.1	2.0	4	5
電力の排出係数		0.355	0.474	0.474	0.474	0.474	0.474

*2019年度以降、東京電力エナジーパートナー㈱の2016年度の実績に基づく調整後排出係数を適用する。

□環境経営目標及びその実績

項目＼年度		基準値(2017年度)	2021年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標/実績)	(目標/実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	11,417	10,581	10,471	10,360		10,250	10,140
			9,365	8,874		9,001		
	基準年比	(2017年)	89%	85%	94%	87%	93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	11,417	10,581	10,471	10,360		10,250	10,140
			9,365	8,874		9,001		
			89%	85%	94%	87%	93%	92%
一般廃棄物の削減	kg	284	273	270	267		264	261
			216	204		182		
	基準年比	(2017年)	79%	76%	94%	68%	93%	92%
節水	㎥	6.0	6.0	6	6		6	6
			2.0	4		5		
	基準年比	(2017年)	33%	67%	94%	83%	93%	92%
電力の排出係数		0.355	0.474	0.474	－	0.474	－	－

【大阪オフィス】

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	基準年	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	10,711	6,593	6,953	7,259	6,869	6,774
廃棄物排出量	トン						
一般廃棄物排出量	kg	174	158	161	130	147	142
総排水量	m^3	20.0	19.0	7.0	7.0	3.0	1.5
電力の排出係数		0.355	0.493	0.493	0.493	0.493	0.493

*2018年度以降、関西電力の2016年度の実績に基づく調整後排出係数を適用する。

□環境経営目標及びその実績

項目＼年度		基準値(2017年度)	2021年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標/実績)	(目標/実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	10,711	10,220	10,144	10,008		9,901	9,795
			7,259	6,869		6,774		
	基準年比	(2017年)	71%	68%	94%	68%	93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	10,711	10,220	10,144	10,008		9,901	9,795
			7,259	6,869		6,774		
			71%	68%	94%	68%	93%	92%
一般廃棄物の削減	kg	174	167	165	164		162	160
			130	147		142		
	基準年比	(2017年)	78%	89%	94%	87%	93%	92%
節水	m^3	20	19	19	19.0		19.0	18.0
			7.0	3.0		1.5		
	基準年比	(2017年)	37%	16%	94%	8%	93%	92%
		0.355	0.493	0.493	−	0.493	−	−

□環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評　価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	取組結果	■変更無　□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・不要照明の消灯	◎	継続	次年度も継続して徹底していきます。
・ノー残業デーの推進/徹底	◎	継続	
・節電シールの貼り付け/確認	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	取組結果	■変更無　□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・アイドリングストップ	◎	継続	社用車に「エコドライブ10の進め」を設置しエコドライブを推進した。 軽油の車の使用と営業人数の変化に伴い、来期は使用量を見直す予定。
・エコドライブの実施	◎	継続	
・車両検査など定期検査の実施	◎	継続	
都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	取組結果	■変更無　□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・空調温度の適正化（冷28℃・暖20℃）	△	継続	2012年の基準時は使用を控えていたが、近年ではコロナ感染対策で窓を開けての使用や熱中症対策のための早めの使用があり、来期は使用量を見直す予定。
・冬季以外は給湯器を使用しない	◎	継続	
・CB/WBを導入している	◎	継続	
・フィルターの定期的な清掃を実施	◎	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	取組結果	■変更無　□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・分別の徹底	◎	継続	分別やリサイクル化を継続します。
・使用済み用紙のリサイクル化	◎	継続	
・ストレッチフィルムのリサイクル化	◎	継続	
・梱包材の再利用	◎	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	取組結果	■変更無　□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・分別の徹底	◎	継続	分別に注意して削減していきます。
・廃棄物削減キャンペーン	◎	継続	
水道水の削減			
数値目標	取組結果	■変更無　□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・節水シールの貼り付け／確認	◎	継続	節水に注意して削減します。 昼食が宅配弁当から社内調理に変わったため、現状を基準に来期は使用量を見直す予定。
製品への環境配慮			
数値目標	取組結果	■変更無　□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・梱包資材の最適化	◎	継続	継続して見直しします。

※CB＝クールビス　WB＝ウォームビス

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	対象
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、木/木くず等）	本社・東京・大阪
騒音・振動規制法	空気圧縮機	本社
浄化槽法	浄化槽（90人）	本社
フロン排出抑制法	業務用エアコン	本社・東京・大阪
自動車NOx・PM法	1，4ナンバーの貨物車	本社

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
又、近隣住民及び協力企業並びに顧客からの環境に関するクレーム及び訴訟等はありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営方針に基づき、環境経営目標の達成に向けて社員一丸となって活動に取り組みました。
結果、都市ガスの二酸炭素削減は、コロナ感染対策のため換気をしてのエアコンを使用したこと、熱中症対策のためエアコン稼働が上がったこと等より、目標が達成できませんでした。
水道料の削減に関しては、昼食が宅配弁当から社内調理に変更のため、使用量が増加しました。
現状の使用も考慮し、基準値の見直しも含めて削減目標を検討していく予定です。
引き続き次年度も二酸化炭素の排出量削減と廃棄物の削減を中心とし、環境に寄与した改善を実施してまいります。
尚、環境経営方針、実施体制、環境経営目標・計画の変更はありません。

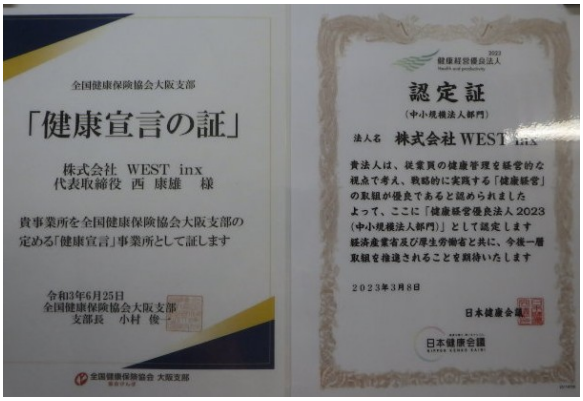
代表取締役社長　西　康雄

□環境経営活動の紹介

エコアクション表示による意識向上

SDGsの意識向上(オリジナル襟章)

蛍光灯照明からLED照明への変更推進中



健康経営優良法人に認定